

ジャーナリスト

2014年8月号

以下、ジャーナリスト
(8月号)「月間マスコミ
評」に掲載された原稿で
ある。

今後可能なかぎり、
執筆をつづけていきたい。
(8月29日)

安倍「コピペ」首相に 被曝者の怒り

集団的自衛(他衛)権な
どの動きの中で、今年の
8月は例年以上に「戦争
と平和」を考える。

安倍首相の挨拶は広島
に続き、長崎の祈念式典
でも昨年の挨拶文とほと
んど同じ、大学では懲罰
に当たる「コピペ」だ。
長崎の被曝者は侮辱だと
首相に怒るが(中日8月
10日)、当然である。

長崎平和宣言では、戦
争をしないという誓いは、
被爆国日本の原点で、被
爆地長崎の原点と表明。
安倍政権の集団的自衛権
の行使容認について不

安・懸念が生まれている
と訴えた。広島では被爆
者7団体は集団的自衛権
「撤回」を求めた。

毎日8月5日オピニオ
ン・社説を読み解くは、
集団的自衛権とメディア
を取りあげる。行使のリ
スクを語らぬ政府を批判
し、新聞の役割重いと述
べるが、政府べつたりの
新聞への批判も必要だ。

朝日は8月5日・6日
朝刊に「慰安婦問題を考
える」という特集記事を
掲載した。これまでの報
道を点検して、記事の一
部に誤りがあったと謝罪
し、「慰安婦問題の本質直
視を」と述べる。

慰安婦問題は日韓関係
に大きな影響をもたらし
ている。朝日に限らない
が、裏付け取材が不十分
なまま報道を続けたこと
の責任は免れない。読者
からの批判に答えるため
に、過去の記事を撤回、
謝罪するのは新聞社とし
て当然のことだ。

読売8月6日は社説で、
「吉田証言ようやく取り
消し」として、検証記事
を論評する。そして「正
しい歴史認識を持つよう
と、広義の強制性があっ
たとして日本政府の責任
を問うことは、議論のす
りかえではないかと朝日
を批判する。

自民党の石破幹事長は、
朝日記事を国会で検証す
ると述べる。日本維新の
会の橋下代表も「鬼の首」
をとったかのように朝日
を攻撃する。今後の展開
では、報道の自由が脅か
されかねない。

そもそも旧日本軍の慰
安婦問題の本質は何か。
世界が注目するのは女性
への暴力、人権侵害にあ
る。女性たちの戦争と平
和資料館は次の要請文を
報道機関に送付した(朝
日12日)。「一部のメデ
イアや政治家が、『慰安婦』
被害という戦争犯罪に当
たる歴史的事実までなか
ったような言い方をして
いる」と批判し、問題に
真摯に向き合うよう求め
ている。

広島・長崎とともに、
慰安婦問題は戦争と戦後
日本を問うものである。

(山田明)